

令和八年度 一般選抜 前期日程 国語 解答例 教育学部

日

問一 ア 網羅 イ 厄介 ウ 散逸 エ 既存 オ 匹敵

問二 (a)現在私たちが見ている多様性はどのような系譜をたどって生じてきたのかという問いをたてることで、多様なものを整理し、知識として体系づけること。(六九字)

(b)様々な蕎麦屋のうちの、蕎麦屋Aがのれん分けをして蕎麦屋BおよびCが生まれ、さらにBがのれん分けをしてDが生まれた…といった具合に、のれん分けの系譜を明らかにすることによって、現在存在する蕎麦屋の多様性について理解が深まる。例えば蕎麦屋Dのつゆの味がBのそれと似ているが、Cのつゆの味とは大きく異なることについて、系譜をもとに説明が可能になる。(二七二字)

問三 典型科学が課している五基準のような制約(一九字)

問四 経験的データに照らしてテストできるものが科学であるという主張(三〇字)

問五 現存するA、B、C稿間の系譜関係について「Bが最も古く、そこから現存しないXができ、そのXをもとにしてAとCがそれぞれできた」という仮説を立てた場合、例えばA、Cの両方に含まれている表現がBには見られない、とか、Bのある段落に対応するA、Cの段落には、末尾に全く同じ、Bにはない一文が付け加わっている、というように、観察可能な原稿の特徴について考察することによって、仮説をテストでき、また、別の仮説と比較してどちらがA、B、C稿間の相違をうまく説明できるかを判断できる。

問六 A 歴史 B 叙述 C 法則／類似性 D 法則／類似性

問一 ㊦

(a) 打ち消しの接続助詞「で」

(b) 自発の助動詞「らる」の終止形

(c) 完了の助動詞「ぬ」の未然形

問二

A 田舎から行列を見物するために都に出てきた人々の、筆者の乗った車を見て驚きあきれている様子。
B 宇治川を渡す船の船頭たちの、川を渡ろうと待つ多くの人たちを澄まし顔で眺めている様子。

問三 (7)

問四 源氏物語

問五

C いったいどのような場所だったから、よりによってそこに宇治の宮の娘たちを住ませたのであろうかと思い、以前から見たいと思っていた場所なのだ。

D 奥の方にいた女たちが「どうしてこのようにうろうろとお歩きになっているのですか」と問いかけたようで、

問六 (E)

㊦

問一

(7) たみなほもつてしよう(しようなり)となすなり

(4) しかるのちにあへている(はいる)

問二 国の民とともに使っていたのです。(民が四方七十里もあった)文王の冢を小さいと思うのも、もつともではありませんか。

問三 オオジカやシカを殺すことは、人を殺したのと同様と見なされる。

問四 齊の宣王の囿／宣王の狩り場 など

問五 齊の宣王の囿は、周の文王の囿に比べて狭いが、周の文王の囿とは異なり、民にとっては入ると罪に問われる落とし穴のような場所であるため。(六五字)

以上